

## 平成30年度第1回会 岡山県地域医療支援センター運営委員会【議事要旨】

1 日 時 平成30年6月5日（火）15:00～16:00

2 場 所 岡山県医師会館 4階 402会議室

3 出席者 別紙のとおり

### 4 議 題

- (1) 岡山県地域医療支援センターの運営状況について
- (2) 第6回地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップについて
- (3) 平成31年4月から医師不足地域の病院での勤務を開始する地域卒卒業医師と勤務病院とのマッチングについて
- (4) 医療法及び医師法の改正に伴う地域医療支援センター運営委員会の医療対策協議会への統合について

### 5 議事要旨

#### (1) 岡山県地域医療支援センターの運営状況について

事務局から平成29年度事業実績・決算及び平成30年度事業計画・予算について説明があり承認された。特に意見はなかった。

#### (2) 第6回地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップについて

事務局からテーマ、内容及び参加者等について説明があり承認された。特に意見はなかった。

#### (3) 平成31年4月から医師不足地域の病院での勤務を開始する地域卒卒業医師と勤務病院とのマッチングについて

事務局から「平成31年4月から勤務を開始する地域卒卒業医師の勤務病院選定方法」及び「県内の医師の診療科偏在の是正」について、次のとおり説明があり承認された。

- ・5月31日に開催された医療対策協議会において、資料3-3により今後取り組むことが承認された。
- ・地域卒卒業医師の配置については、「県北の保健医療圏の充足状況を勘案した上で、県南の保健医療圏にも可能な範囲で配置する」こととなった。
- ・「県内の医師の診療科偏在の是正」については、地域卒卒業医師に貢献していただくこととなり、まずは他科の医師では対応困難で医師確保の緊急性が高いと考えられる産婦人科が対象となった。

#### 〈委員の主な意見〉

- ・県北の実情も踏まえた上で、県南への地域卒卒業医師の配置について適切に対応していただきたい。

- ・ 県北の医師不足の状況を前提条件とした上で、地域の必要性や医療の継続性を病院選定基準の上位に位置づけてほしい。
- ・ 病院の選定方法について、県独自で素晴らしいものを作っているが、地域医療構想や県保健医療計画、医療資源の適正配置・再配置なども考慮してほしい。また、継続的に配置するような仕組みが必要ではないか。
- ・ 診療科偏在の是正について、産婦人科が対象となっており感謝するが、地域卒業医師が義務を果たしながら専門医を取得するのはハードルが高いので上手に対応していただきたい。また、女性医師の妊娠・出産等に対しては、地域の中において、特に受け入れた施設が相互協力によりサポートすることを第一に考えていただきたい。

〈委員の質問に対する事務局の回答〉

- ・ 平成31年4月から地域勤務を開始する医師数は、最少3人から最多9人の間となる。現時点では5、6人を見込んでいる。

**(4) 医療法及び医師法の改正に伴う地域医療支援センター運営委員会の医療対策協議会への統合について**

事務局から次のとおり説明があり、事務局案で進めることが承認された。

- ・ 現在国会で改正法案が審議されているが、改正内容のうち「地域医療対策協議会の機能強化」については、公布日と同日施行であり、今年度中の対応が求められることから、「地域医療支援センター運営委員会」及び「へき地医療支援会議」を「医療対策協議会」に統合する方向で進めたい。

〈委員の質問に対する事務局の回答〉

- ・ 会議体である地域医療支援センター運営委員会を医療対策協議会に統合するものであり、地域医療支援センターの組織そのものをどうするといった話ではない。
- ・ 地域医療支援センター長については、医療対策協議会に統合された後においても、事務局として会議に出席することを考えている。

以上